

☆ 平 柔 通 信 ☆

平塚柔道協会発行
責任者 会長 奥山晴治

今月の目標・

足技から得意技への連絡

強い選手は足が利く!

安昌林(アン・チャンリン)という選手を知っていますか?

この写真を本紙5月号で紹介しました。気になった方も多かったかと思います。

安昌林(アン・チャンリン)選手です。アン選手は、韓国代表選手であり、東京五輪では73キロ級で大野選手最大のライバルになるであろう強豪選手です。

日本で在日韓国人三世として育ち(京都府出身)、柔道を始めたのは小学1年のとき、中学まで京都で過ごし、高校は神奈川県桐蔭学園へ、インターハイに出場し、大学は名門筑波大学へ進学、大学2年には全日本学生優勝、その後、母国韓国に渡り、韓国代表として活躍します。そして2018年バグーの世界選手権で優勝し、現在、東京2020を目指しています。五輪での大野選手との対戦が楽しみです。



彼のポスターに、中学生のときに書いた彼の文章が書かれていますので紹介します。中学生のときから強い信念を持っていたことが分かります。凄い選手です。

「僕が負ければ家族が泣く。ハラホジ(祖父)のことを思い出せ。第一ハツキョ(朝鮮学校)の同級生、同胞が応援していることを忘れるな。柔道は闘い。「試合」は「死合い」、負けは死を意味し、勝つことは生を意味する。他人を批判、評価するな。強いやつには先ずお願いしにいけ。俺が寝ている間も強いやつは練習している。間接を取ったら極めろ。追い込まれて出る技が真の技。全体的に突き抜ける。是が非でも勝つ。食事・睡眠・すべてがトレーニング。正月は人が作ったものだから正月も練習する。オーバーワークは一流選手だけが使う言葉。道場で水を飲むな。人に弱点と弱気を見せるな。柔道着は自分の鏡。センスがなければ三倍努力。」

「何がなんでも東京五輪で金メダルを獲る。」

新入会員続々と加入～コロナ禍でも新たな仲間が増えています!～



新型コロナウイルスの影響で活動が制限される中、平塚柔道協会には新たな仲間が続々と加入しています。全国で柔道人口が減少していることが問題視される中、こうして新たな仲間が続々と増えていることは大変うれしいことです。新入会員の子供達も柔道の楽しさを感じてくれ意欲的に取り組んでます。この調子でどんどん盛り上がった道場にしていきましょう。(金井)

(11月の予定) 8日(日) ボランティア清掃 原則(火曜日)と(土曜日)の19時～21時

(雑感) ～講道館杯～ コロナ禍において、小学生から社会人までのあらゆる全国大会が中止となった。そして東京2020は来年へ延期。全国の道場では、緊急宣言解除後、全柔連のガイドラインに基づき、手探りの中、感染防止対策を講じ稽古を再開し、段階を踏みながら前へ進めている。そのような状況下、国内最高峰の大会である講道館杯がついに開催。参加人数を厳選し、感染防止対策を万全にし、無観客での開催である。With コロナ。柔道は大規模大会が問題なく開催できるのか。大きな一歩となる。「感染対策を万全にすれば大会は開催できる。」今後につながることを祈念している。(五)